MatsukiyoCocokara&Co.

NEWS RELEASE
2021 年 12 月 24 日

ＴＣＦＤ提言（気候関連財務情報開示タスクフォース）に賛同
～地球の健康を考える～
持続可能な社会の実現に貢献

「未来の常識を創り出し、人々の生活を変えていく」をグループ理念に掲げ、全国に 3,300 店舗超のドラッグストア・調剤薬局を展開する株式会社マツキヨココカラ＆カンパニー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：松本清雄）は、サステナブル経営の実践に向け、5 つのマテリアリティ（重要課題）を設定しており、そのひとつに「地球の健康を考える」を掲げています。気候変動への対応を重要な経営課題として認識し、環境負荷を低減し、地球の健康を維持するため、当社グループだけでなくステークホルダーの皆様と繋がりながら、低炭素社会への貢献・当社 PB 商品の環境配慮型へのシフト・事業を通じたエシカル消費の普及など、取り組みを進めております。

地球温暖化による気候変動が全世界的な課題である現在、当社は、ＴＣＦＤ（気候関連財務情報開示　タスクフォース）※による提言に賛同し、ＴＣＦＤが推奨する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標及び目標」について次のとおり設定いたしました。環境負荷低減に継続して取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※TCFDとは、G20の要請を受け、金融安定理事会（各国の金融関連省庁及び中央銀行からなる国際金融に関する監督業務を行う機関）により、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討するために設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」を指します。

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

ガバナンス

当社は、事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指し、2021年12月に代表取締役社長を委員長として、常勤取締役、常勤監査役、全部門長が委員として構成する「サステナビリティ委員会」（年２回開催）を設置いたしました。
今後は、同委員会を中心に次の体制により、気候変動への対応を推進してまいります。

機関及び部門	役割
取締役会	・サステナビリティ委員会の監督 ・気候変動にかかる重要方針や事項の審議・意思決定
サステナビリティ委員会	・気候変動対応の執行状況の進捗管理、報告 　- 取締役会への報告、提言（年２回・必要に応じて適宜） ・気候変動対応にかかる各分析や対策等の審議・評価
総務企画室（同委員会事務局）及び関係各部	・気候変動に関するリスクと機会の分析 ・事業戦略への影響の把握 ・気候変動の緩和や適応につながる対策検討及び情報開示

<table>
<tr><td>戦略</td><td>
気候変動に伴うリスク及び機会は、GHG（Greenhouse Gas:温室効果ガス）排出に関する規制等の低炭素社会への「移行」に起因するものと、気象災害の激甚化等の気候変動による「物理的」変化に起因するものが考えられます。
当社では、これらのリスクや機会による影響を次のとおり整理しております。
<table>
<tr><th colspan="2">区分</th><th>リスク</th><th>機会</th></tr>
<tr><td rowspan="5">移行</td><td>炭素価格の導入・引き上げ
GHG排出規制強化</td><td>・店舗運営コストの増加
・原材料調達コストの増加
・製造コストの増加</td><td>・サプライヤーにおける業務プロセスや設備の効率化による原材料調達コストの減少</td></tr>
<tr><td>電力価格の上昇</td><td>・エネルギーコストの増加
・原材料調達コストの増加
・製造コストの増加</td><td>・低コスト化する代替エネルギーの導入によるエネルギーコストの減少</td></tr>
<tr><td>フロン規制強化</td><td>・店舗のノンフロン設備等への投資コストの増加</td><td></td></tr>
<tr><td>プラスチック規制強化</td><td>・プラスチック規制に対応した代替原材料の調達コストの増加</td><td></td></tr>
<tr><td>消費者思考の変化</td><td>・環境配慮への遅れによるブランドイメージの低下</td><td>・環境配慮型商品・サービスの開発による売上の増加</td></tr>
<tr><td rowspan="2">物理的</td><td>気象災害の激甚化</td><td>・価値創造の源泉となる従業員の被害
・店舗自体への被害店舗休業による売上の減少</td><td></td></tr>
<tr><td>平均気温上昇</td><td>・店舗における電気使用量の増加</td><td>・気温上昇による顧客の嗜好の変化に合わせた商品・サービスの開発による売上の増加</td></tr>
</table>
当社は、グループの国内小売事業を対象に、ＩＰＣＣ（気候変動に関する政府間パネル）が想定するシナリオに基づき、炭素価格の導入や電力価格の上昇による店舗運営コストの増加、気象災害の激甚化による当社への影響の分析に着手してまいります。
</td></tr>
<tr><td>リスク管理</td><td>
現在、当社における気候関連リスクは、当社のリスク管理の一環で実施するリスクアセスメントの項目に「環境問題」として組み込み、全社リスクのうちの１つとして統合し管理しております。また、当社は、マテリアリティとして「地球の健康を考える」を特定しており、そのリスクの優先度を高めております。
当社は、引き続き、戦略欄に記載のリスクと機会を、サステナビリティ委員会の事務局となる総務企画室とその関係する部門にて分析を進めてまいります。その結果や対策は、サステナビリティ委員会にて審議し、同委員会より取締役会へ報告します。この結果を踏まえて、必要に応じて社内のリスクアセスメントの項目を更新し、他のリスクと同様に社内のリスクマネジメント実施計画に則り執行するというプロセスを実践してまいります。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>指標及び目標</td><td>当社は、旧株式会社マツモトキヨシホールディングスにて、次の指標及び目標を設定しております。現在、旧株式会社ココカラファインとの経営統合を経て、その指標及び目標を再評価しております。当社の指標及び目標ができましたら、公表させていただきます。

旧株式会社マツモトキヨシホールディングスの指標及び目標
＜マテリアリティ＞
・地球の健康を考える
<table>
<tr><td>項目</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>ＫＧＩ</td><td>・エシカルな社会づくりに貢献する企業グループとして存在している</td></tr>
<tr><td>ＫＰＩ</td><td>・2023年度　１店舗あたりCO_2排出量 20％削減（2015年度比）
2030年度　同 30％削減
・2023年度　ＰＢ商品環境配慮型比率　20％
・サプライチェーン全体での省エネルギー・省資源化の推進</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

Find your "!" wow

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

3,300 店舗超のドラッグストア・調剤薬局を中核事業として、全国で展開している東証一部上場企業。子会社としてマツモトキヨシグループとココカラファイングループを擁し、「美と健康の分野でアジア No.1」の企業グループを目指しています。介護事業、インターネット通販事業など幅広く展開しています。
コーポレートサイト：https://www.matsukiyococokara.com/

株式会社マツキヨココカラ＆カンパニー　グループ経営企画統括　広報室
Tel：03-6672-7808　　mail：mkccpr@matsukiyococokara.com